

課題

- バス、タクシー等の二次交通は、地元住民の日常利用向けとしては一定程度供給されてはいるが限られたリソースで運営しており、来訪者が突然やってきても駅で移動手段の確保に困る場合がある。

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- 鉄道利用者が可能な限りスムーズに二次交通への乗継が出来るよう鉄道施設の一部にQRコードを貼付し、二次交通の事前予約サービス実施
QRコード貼付先は、「261系0番台特急列車の座席テーブル」、及び「美唄駅、名寄駅の駅舎内ポスター」
告知内容は「二次交通の予約サイトへ接続するQRコード、操作方法」
特急列車座席テーブルから電腦交通のタクシー配車予約案内
駅舎内ポスターから、各市内を走るAIデマンドバスの予約案内

[モビリティ・データの取得と活用]

- 二次交通のシステムから予約日時、目的地、配車のマッチング結果等のデータを収集。来訪者に対する交通空白の解消に繋がったか自治体と共に検証。

[地域交通政策等との連携]

- 宗谷線沿線で電腦交通の仕組みを導入しているタクシー会社は4社(名寄市が2社、稚内市が1社)。またAIデマンドバスは美唄市、名寄市が運行主体。
- 3市の地域公共交通計画にはICTなど活用したシームレスな二次交通の実現を取組事項としており、本件はその考えに合致していることを自治体とも確認済。

効果

- 1次交通から2次交通へのスムーズな乗継が可能になり、公共交通機関の利用促進、及び利用満足度の向上に寄与。

事業の新規性

- JR四国で前例があるので事業に新規性はないが、道内では初の事例

事業エリア/交通事業

事業エリア：美唄市、名寄市、稚内市(美唄駅、名寄駅、稚内駅)

- JR北海道/電腦交通、及び電腦交通の予約システム導入済ハイヤー会社3社/ネクスト・モビリティ社(のるーと美唄、のるーと名寄)
- タクジット連携:配車駅名寄駅、稚内駅/AIオンデマンドバス連携駅:名寄駅、美唄駅

MaaSアプリ等

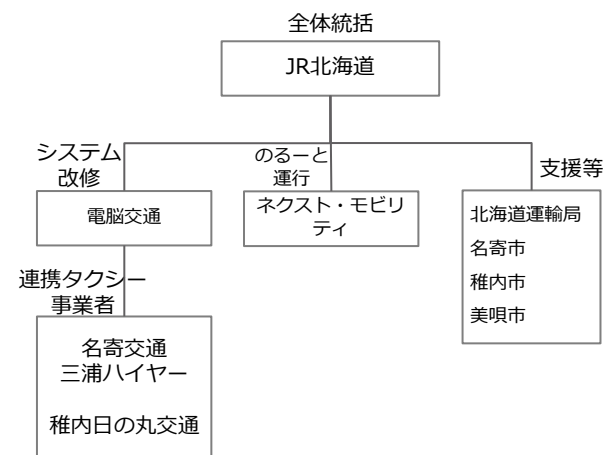
- 電腦交通のタクジット
- のるーとアプリ他

データの活用等

- データの取得方法
月初に前月分のデータを電腦交通様、ネクスト・モビリティ社様より提供いただく。
- データの活用方法
配車NGになった要因をもとに、いつまでに予約することが望ましいか検証
予約実績から費用対効果や改善点など考察

座組

スケジュール



3～4月 申請～交付決定

5～6月 電腦交通でシステム設定

告知物制作、貼付け

7～12月 実証期間

1月～ 効果検証、今後の方向性検討

ステッカー撤去

2月下旬～ 精算

※交付決定に時間を要した場合は、観光シーズンから外れるリスクもある。

※実証期間は準備の状況で見直すこともあり